



白亜の浜脇教会

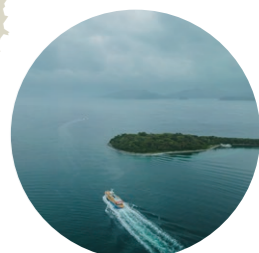
福 江港から高速船で二十分、田ノ浦港に到着した。久賀島は馬蹄のような独特の形をしており、その中心には、山々に囲まれるように久賀湾が広がっている。

久賀島には潜伏キリシタンの歴史が眠っている。十八世紀後半、五島藩の政策により、大村藩から久賀島へと移住した彼らは、在来の仏教集落の住民と漁業や農業をともにしながら、二百年以上にわたって自らの信仰を守り続けた。世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である「久賀島の集落」は、その歴史を今に伝えている。

最初に向かったのは、浜脇教会。海に向かって建つ真っ白な教会堂は、五島初の鉄筋コンクリート造りだという。「五島市ふるさとガイドの会」の川口進さんはこう話す。「禁教の高札が撤廃されると、一八七九年頃から五島の各地に小さな教会が建てられました。五島では『家御堂』と呼ばれる、民家を利用したものが多くあった中、久賀島の信徒たち

世界遺産の島

久賀島



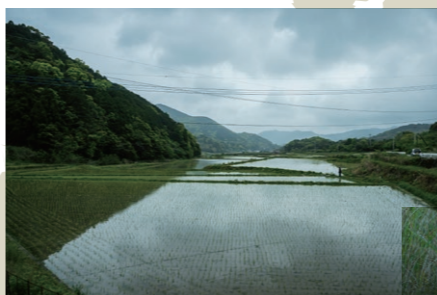
福江島から久賀島へのちょっとした船旅を楽しもう。

は一八八一年、この地に立派な教会堂を建てました。現在の教会堂は、その最初の教会堂の老朽化に伴い、一九三一年に建て替えられたものです。

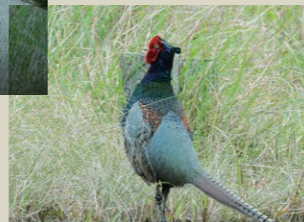
天気の良い日は、福江島から緑の山々の中に白い教会堂が浮き出るようにはっきりと見えるという。「福江島から見えるこの場所に建てたのは、自分たちの固い信仰心を表現するためであつたらうと思います。この島の人たちは生活の中

信仰があるのではなく、信仰の中に生活があります。それくらい強い信念を持つ人たちが多かったのです」。

久賀島は静かで美しい。二〇一一年には、島民が使い、守ってきたツバキ林の景観や馬蹄形という特異な地形条件の中で築きあげられてきた集落景観が高く評価され、島全域が国の重要文化的景観に選定されている。



久賀島の特産品の一つは米。島にはのどかな田園風景が広がっている。



久賀島ではキジの姿がよく見られる。

島を包む
すべての風景が
語りかけてくる。

